

# 6. 十分な水道水を確保せよ — ダムを造る〔利水工事の例 3〕

## (1) もっとたくさんおいしい水を

かつて十勝では、大多数が井戸水や沢水などを利用していましたが、昭和28年(1953)に帯広市に稲田浄水場ができるなど、各地に水道設備ができていきました。

その後産業が発展していき、また生活も豊かになって水洗トイレが広まるなど、さらに水が必要となりました。

そんな中で、雨が少なくなれば水不足になり、水道の水が止まってしまう。そうすると、暮らしは成り立ちません。

そこで、中札内村の札内川上流から、中札内村、更別村、帯広市、芽室町、幕別町、音更町、池田町に水道水を引くという計画ができました。



(上)帯広市、稲田浄水場。



(右)かつて利別川の水を引いていたころの、池田町浄水場。

下写真「十勝川写真で綴る変遷」より

## (2) 水をたくさんためる仕組み…ダム

7つの市町村。全員の分ではないのですが、大量の水が必要です。しかも雨が降って水が多い時だけではなく、いつでも水が使えるようにしなければなりません。

そこで、札内川上流に造られるダム＝札内川ダムにためる水を、水道用にも使うことになりました。

この札内川ダムの工事は昭和63年(1988)に始まり、8年をかけ、平成8年(1996)に完成しました。テストをした後、平成9年(1997)12月より働いています。

(→ 水をためる札内川ダム p36)



土や岩をほったりけずったりする。右下にパワーショベルが見える。

上写真「十勝川写真で綴る変遷」より



かなりダム本体ができてきた札内川ダム (平成7年)。完成後の高さは114m。



完成後の札内川ダム。左上はダムにためられた水。ダムにためることのできる水の量は、5千400万m<sup>3</sup> = 帯広市役所で約900杯分。

川で行われた大きな工事

川につながるふだんの暮らし

川につながる農業

川につながる漁業や工業

付録

### (3) 水を引くために水をためる…せ

水道用の水は、ダム湖から取られているのではありません。

札内川ダム<sup>※1</sup>の下流7kmに、せきを造って水の高さを上げ、取り入れ口から水路につなげました(このせきからは、農業用水も引かれています)。

水は「なかとかち浄水場」に送られて、ゴミを取り除かれ消毒されます。その後、各市町村に送られます。

(→ 水を取るところ p 35、→ 水をきれいにする p 33)



札内川上流部で水を取るところ。



中札内村・上札内にある、なかとかち浄水場(ワックアプラザ)。水をきれいにして各市町村に送る。

約10km

中札内村	.....	約2km
更別村	.....	約5km
帯広市	.....	約33km
芽室町	.....	約36km
幕別町	.....	約39km
音更町	.....	約50km
池田町	.....	約63km

水が送られる市町村と、浄水場からの距離。(配水池<sup>※2</sup>までの水路延長)

参考:「みずのたび」(十勝中部広域水道企業団)



大雨の時洪水をおさえるために水をため、雨の量が少なくなって放流する札内川ダム。

### (4) 川の水量も調節

札内川ダムは、水道用水・農業用水をためるほかに、山に降った雨を一時的にためて洪水を調節(軽減)したり、水の力で電気を起こすこともできます(このように、いろいろな役目を持つダムを、多目的ダムといいます)。

また、札内川はその名前(「サツナイ」は、アイヌ語で「涸れる川」)のとおり、雨が少ない時には水の流れが見えなくなります。札内川ダムは水の量を調節することで、できるだけいつも水が流れるようにして、川の生き物がすみやすいように工夫しています。

(→ 洪水調節するダム p 14・p 75、→ 電気を起こすダム p 52)

### (5) より良い川のために

こうして札内川ダムは、豊かな水道水を確保し、洪水調節や農業用水の確保、発電など、暮らしのために大きな役割を果たしています。

ただ一方で、魚が上れなくなったり、ダム湖ができたことでそれまであった陸上の自然が失われたりもしました。

そこで、ダムのまわりに自然にある植物を増やすなどして、環境が良くなるような工夫をしています。

みなさんも、いい方法を考えてみてください。

札内川ダムの見学は5月中旬~10月下旬(10時~16時、火曜休)。くわしく見たい場合はあらかじめ申し込みをしてください。

※ 申込・問い合わせ先: 札内川ダム管理所 0155-69-4666



ダム工事が始まる前のようす(昭和61年(1986))。

札内川ダムのホームページ <http://www.satsudam.go.jp/>

※1 せき(堰): 取水のため、また流量や水位を調節するため、川の途中や湖・池の出口などに流れをさえぎって造られた構造物。

※2 配水池(はいすいち): 水の使用量は時間によって変わるので、それに対応できるように水道水をためておく池。